
4. にぎわいと豊かさを創りだす風格のあるまち

—産業の振興—

恵まれた自然や伝統、歴史的な観光資源を活かし風格とにぎわい、そして豊かさを実感できるまちを目指します。また、産業間の相互連携によりバランスのとれた産業の発展を目指します。

1. 商業

- 活力ある商業の育成
- 中心市街地商業等の活性化
- 経営の近代化

2. 工業

- 産業基盤の整備
- 中小企業への支援

3. 農業

- 生産基盤の整備
- 農業技術への対応
- 経営の自立・安定
- 農地の有効利用
- 地産地消の推進

4. 林業

- 林業基盤の整備
- 林業経営の振興
- 森林の保全
- 森林文化の創造

5. 観光

- 都市型観光の推進
- 資源を活かした観光まちづくり
- 受入体制の整備
- 情報発信の強化

6. 生鮮食料品流通機構

- 市場運営の健全化

7. 山間地域

- 自然環境の保全・活用
- 山間地域の活用

8. 勤労者

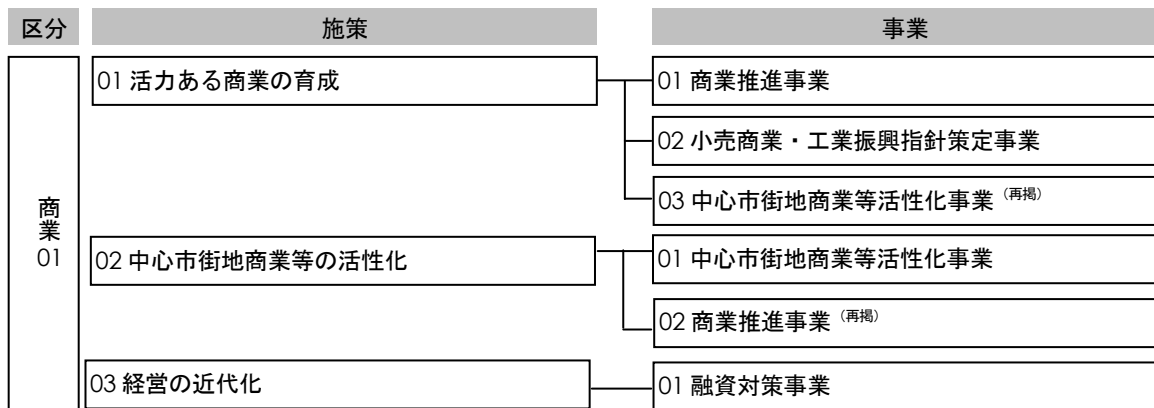
- 勤労者福祉
- 勤労者の生活支援
- 雇用対策の推進

1 商業

施策の基本的考え方

- 商店街の魅力と賑わいの創出を図るため、商店街が取り組む創意工夫したイベント事業や街路灯などの共同施設の整備に対する支援を行うとともに、商工業の振興に資するための指針の策定を推進します。
- 中心市街地商業等の活性化を図るため、中心市街地活性化基本計画の事業を中心に、効果的な事業展開を促進します。
- 経営の近代化を図るため、融資制度の充実、共同事業の促進、診断・指導事業の充実や経営者意識の高揚を図ります。

施策・事業の体系



01 活力ある商業の育成

■商業推進事業 【事業No.04010101】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

事業概要

- 商店街が取り組む創意工夫したイベント事業や街路灯などの共同施設の整備に対する支援を行い、商店街の魅力と賑わいの創出を図る。

現況と課題

- 店主の高齢化及び後継者不足等による商店数の減少により、商店街活動の維持が困難となっている。
- 商店街活性化に向けた取り組みを促進する人材が不足している。

今後の事業展開

- 商店街活動に対する助成措置については、主体的かつ積極的に事業に取り組む商店街に対する重点配分に努めるとともに、安全安心な商店街の形成を図る観点から、老朽化した街路灯及びアーケード等の補修や、環境に配慮した共同施設の設置に対する助成に努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24～26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
年間商品販売額(百万円)		258,000	260,000	260,000	260,000	780,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24～26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	7,104		4,783	4,783	4,783	

■小売商業・工業振興指針策定事業 【事業No.04010102】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

事業概要

- 新たな社会経済情勢に応じた商工業の振興を推進するため、本市の特性を踏まえた商工業振興指針を策定する。

現況と課題

- 有識者、商工業事業者、一般公募者による者等からなる協議会を設置するとともに、3つの専門部会を設け、現行指針の検証に加え、本市の特性等についての課題分析に取り組んでおり、今後予想される社会経済環境の変化を見据える中で、商工業の将来像と振興の方向性を示した「甲府市商工業振興指針」を平成24年度内に策定する。なお、指針には策定後においても実効性を担保するための施策を盛り込む必要がある。

今後の事業展開

- 商工業振興指針には、実現可能な施策のほか、実効性を担保するための施策や検証方法なども盛り込み、平成24年度内に策定する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24～26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
①協議会の設置 ②振興指針の策定 (進捗率:%)	—	①100	②100	—	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24～26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	2,500		2,813	—	—	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

■ 中心市街地商業等活性化事業 【事業No.04010103←No.04010201】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ガイムン	237- 5693
			商工振興係		

02 中心市街地商業等の活性化

■中心市街地商業等活性化事業 【事業No.04010201】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

事業概要

- 市民、商業者、行政、その他関係機関等が連携し、中心市街地活性化基本計画の事業を中心に、効果的な事業を展開し、中心市街地における商業等の活性化を図る。

現況と課題

- 中心市街地活性化基本計画に位置づけられた事業が推進されてはいるものの、依然として中心市街地の活性化が図られていないと難しい状況が続いており、商店及び商店街として、活性化に向けた新たな取り組みが求められる。

今後の事業展開

- 引き続き、関係機関が連携し、平成 20 年度に国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画に位置づけられた事業の着実な推進を図るとともに、新たな事業の展開や様々な主体の連携を図る中で、中心市街地の賑わい創出のための事業に取り組む。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24~26)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
中心商店街歩行量 (3日間)(人)	167,392	150,196	188,000	198,000	198,000	584,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	26,108		25,592	25,592	25,592	

■商業推進事業 【事業No.04010202←No.04010101】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

03 経営の近代化

■融資対策事業 【事業No.04010301】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237- 5694
			金融係		

事業概要

- 中小企業の経営及び構造の改善並びに経営基盤の強化を促進するため、中小企業者に対し、預託金・寄託金を原資に指定金融機関を通じ、必要な事業資金の融資を行い、本市商工業の健全な発展に資することを目的とする。

現況と課題

- 業況の悪化している中小企業者や、円高により売上が減少することが見込まれる中小企業者を対象としているセーフティネット保証などに係る認定を速やかに行うとともに、本市の制度融資の中で低利で償還期間の長い特別経営安定資金等の融資が円滑に実行できるよう努める。

今後の事業展開

- 今後も、金融機関や保証協会と連携を図りつつ、小規模企業者小口資金や特別経営安定資金など市の制度融資を推進することにより、中小企業者の個々の実情に適した資金繰りの支援を行っていく。

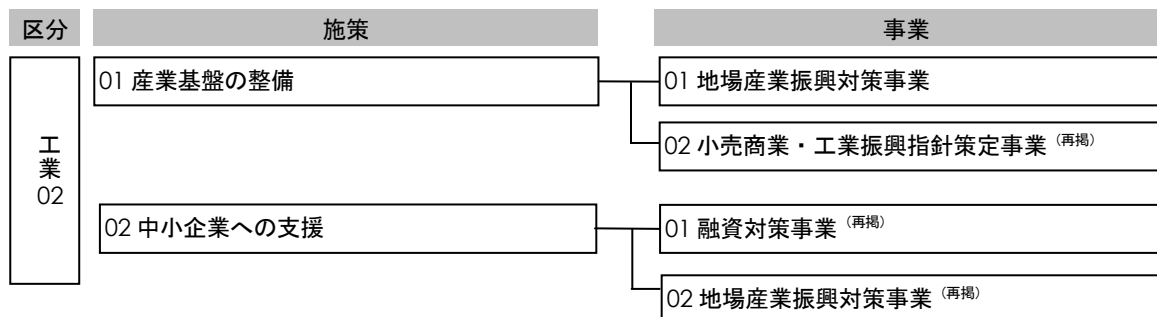
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
倒産にかかる 融資金額比率(%) (融資残高に対する)	1.35	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	556,533		558,396	558,425	558,425	

2 工業

施策の基本的考え方

- 中小企業振興策として経営革新や人材育成に対する支援をするとともに、産業の活性化を図るため、既存工業団地の生産環境の維持増進及び企業誘致のための環境整備に努めます。
- 新規分野への進出、高度化、企業連携や異業種交流などを支援し新たな産業の創出を図るための環境整備に努めます。

施策・事業の体系



01 産業基盤の整備

■地場産業振興対策事業 【事業No.04020101】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

事業概要

- 地域産業の発展の担い手である地場産業・伝統産業を支援し、産地基盤の確立と販路拡大並びに業界の振興及び育成を図る。

現況と課題

- 本市の中小企業は、経営基盤が脆弱な個人経営・生業型企業が多いため、異業種製品のマッチング*や新商品開発費助成などと共に、人材育成のための支援が必要である。

今後の事業展開

- 各業界組合等への助成については、より効果的な支援策を検討する。
- 甲府商工会議所、各商工業団体等と連携する中で、販路拡大に繋がる効果的な方策を検討し、工業振興を図るための事業を積極的に推進していく。
- 地場産品の地域ブランド化に取り組むため、各業界団体等の異業種協業化*、及び地域資源を活用した特色ある新商品の開発を推進し、地場産業の発展と地域の活性化を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24~26)
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
①地場・伝統産業、市場・販路 拡大事業実施回数(回)						
②地域ブランド化に取り組む ための協議会開催回数(回)	①9	②8	②4	②4	②4	12
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	21,109		21,926	16,582	13,379	

■小売商業・工業振興指針推進事業 【事業No.04020102←No.04010102】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5694
			商工振興係		

02 中小企業への支援

■融資対策事業 【事業No.04020201←No.04010301】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5694
			金融係		

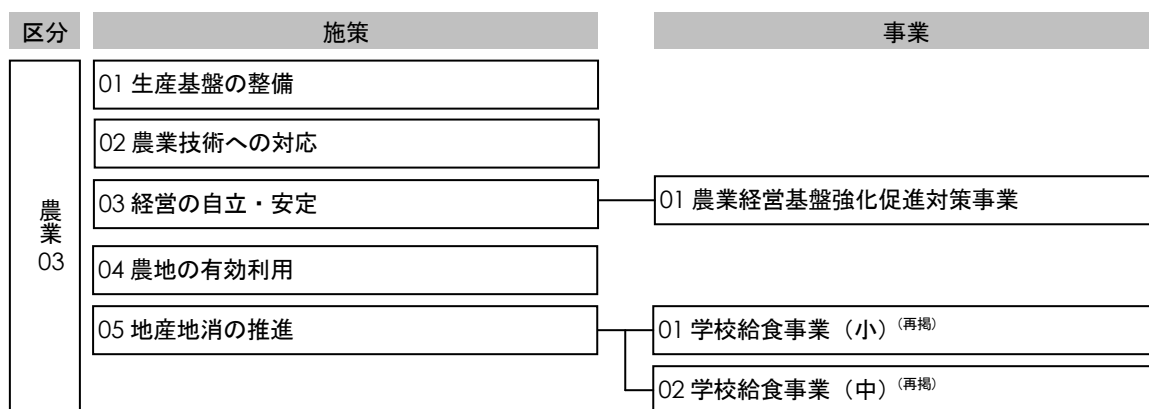
■地場産業振興対策事業 【事業No.04020202←No.04020101】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

3 農業

施策の基本的考え方

- 優良農地*の確保・保全を図るため、生産環境基盤の整備を行います。
- 農業技術の普及指導と優良種苗の生産供給、甲府ブランドの確立に努めます。
- 農家の自立と経営の安定を図るため、農業経営改善を支援し、農業関連施設の近代化の促進や生産販売対策の拡充、他産業との連携を図ります。
- 農地銀行*の活用促進、遊休農地*対策の推進、中山間地域等直接支払い制度*の推進を行いながら、農地の有効利用を図ります。
- 地産地消*の促進を図ります。

施策・事業の体系



*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 経営の自立・安定

■農業経営基盤強化促進対策事業 【事業No.04030301】	担当部課係名	産業部	農業振興課	ダイヤル	242-2661
			農業振興係		

事業概要

- 農業者及び関係団体をソフト・ハード両面で支援することにより、効率的で安定的な魅力のある農業経営を目指す農業者を確保・育成するとともに、これらが甲府市農業の相当部分を担うような農業構造の構築を目指す。

現況と課題

- 認定農業者の高齢化に伴い更新時（認定有効期限5年）に再認定を辞退する農業者が増えている。近年の社会情勢から、非農家からの新規就農や企業の農業参入などの相談が増えており農業の担い手も多様化し、指導、支援も多様な対応が求められている。
- 国、県の施策が認定農業者に集中する中では、さらなる認定農業者の確保が必要であり、そのためには候補者の明確化を図り、これら未認定農業者や新規就農者を認定農業者に誘導する為、関係機関と連携し指導、支援に努める必要がある。

今後の事業展開

- 農業経営の強化策として、認定農業者およびその候補者など担い手への耕作地集積支援をはじめ、資金の利子助成や経営相談の対応や研修会などを開催し、効率的で安定的な経営体の育成に努める。
- 市場評価の高い甲府市特産のスイートコーン（きみひめ、ミルフィーユ）や、ブドウの有望品種のシャインマスカット等の優れた農産物が甲府ブランドとなるよう生産および販売の支援を行っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
担い手による総経営面積(m ²)	293.0	322.5	322.5	322.5	322.5	322.5
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	5,882		5,435	5,319	5,319	

05 地産地消の推進

■学校給食事業（小学校） 【事業No.04030501←No.02010401】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

■学校給食事業（中学校） 【事業No.04030502←No.02010402】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

4 林業

施策の基本的考え方

- 適正な森林施業の実施により、健全な森林資源の維持増進を図るため、「甲府市森林整備計画*」に基づいた、治山事業の推進、林道の整備促進を推進します。
- 林業経営の安定と、林業従事者の安定性を促進させるため、林業構造改善を推進し、林業の担い手の確保に努めます。
- 公益森林（水源かん養林）の整備促進を図り、水資源の安定確保のため、手入れの行き届かない民有林について、森づくりコミッションと連携し、「企業の森」等の誘致を推進するとともに、緑のボランティア*の活動促進を図ります。
- 森林整備地域活動支援交付金を活用して、森林とふれあう環境の整備を行うとともに、民有林の適時適切な森林施業の推進を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
林業 04	01 林業基盤の整備	
	02 林業経営の振興	01 森づくり推進事業（再掲）
	03 森林の保全	01 森づくり推進事業
	04 森林文化の創造	01 森づくり推進事業（再掲）

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

02 林業経営の振興

■ 森づくり推進事業 【事業No.04040201←No.04040301】再掲	担当部課係名	産業部	森林整備課	ダイヤル	242-2663
			森林保全係		

03 森林の保全

■ 森づくり推進事業 【事業No.04040301】	担当部課係名	産業部	森林整備課	ダイヤル	242-2663
			森林保全係		

事業概要

●地球温暖化防止への取り組みが重要となる中、本市総面積の64%を占める森林の有する公益的機能の高度発揮が図られるよう、適正な森林整備を進める造林・間伐事業、更には、水源地域森林や荒廃山地の整備のための治山事業、森林整備の効率化を図る林道事業へ取り組む。また、市有林や山村地域の基幹産業である林業の経済林としての位置付けの確立に取り組む。

現況と課題

●木材産業の活性化や水源涵養などの森林機能を保全する森林整備推進が重要であるが、木材価格低迷などによる生産意欲の減退や、林業労働力確保などが大きな課題である。

今後の事業展開

- 「甲府市森林整備計画」に基づき、手入れが行き届いていない森林を対象として健全な森づくり推進を図るため、県、森林組合等と連携を図るなかで、森づくり推進事業を継続的に実施する。
- 甲府市有林については、森林資源の有効活用を図るなかでの森林整備と経済林としての活用推進のため、「山梨県集約化施策の推進に係る基本指針」に基づいた森林整備の推進や間伐材の活用について調査検討を行い消費拡大を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
公有林整備面積 (ha)	14	18	28	28	28	28
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	23,603		13,737	11,550	11,550	

04 森林文化の創造

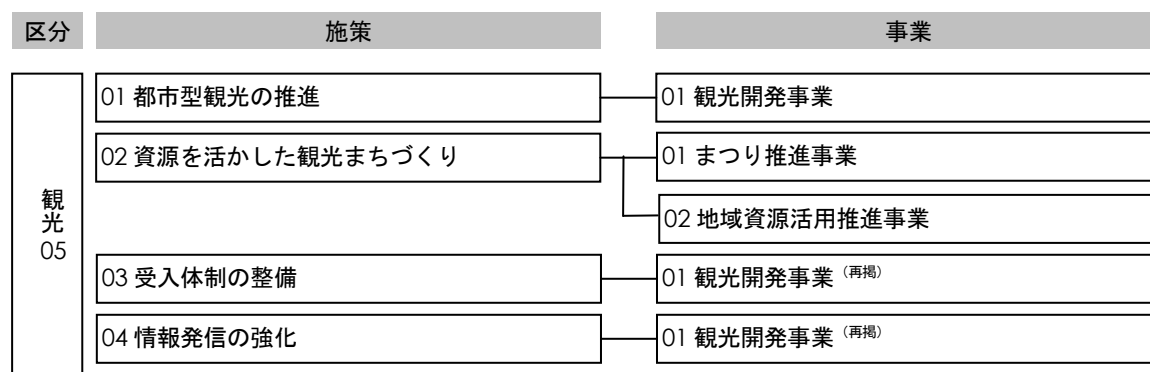
■ 森づくり推進事業 【事業No.04040401←No.04040301】再掲	担当部課係名	産業部	森林整備課	ダイヤル	242-2663
			森林保全係		

5 観光

施策の基本的考え方

- 観光客はもとより、ビジネスやコンベンション*を目的に来甲する人々が、短時間でも本市の魅力を感じることができ、次の機会にはリピーター*として訪れてもらえるような施策の展開を図ります。
- 多様な観光客を誘致するため、本市の豊かな地域資源を積極的に活用しながら、来甲者や観光客のニーズを的確に捉えた施策の展開を図ります。
- 本市の交通の利便性や立地条件を最大限活用しながら、国内外観光客の受け入れ体制の整備を図ります。また、観光客と市民との交流の主体となる担い手の育成に努めます。
- 本市の魅力を県内外に広く発信し、多くの人々に本市を訪れてもらうため、多種・多様・多面的な誘客宣伝活動の展開を効果的に行います。

施策・事業の体系



*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 都市型観光の推進

■観光開発事業 【事業No.04050101】	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

事業概要

- 「観光振興計画推進会議」を開催する中で、観光関連団体等と連携し、活力ある魅力的なまちづくりを推進する。
- 「甲府市観光客誘致対策補助金交付制度」の周知を積極的に行い、滞在型観光客の増加を図る。
- パンフレットの作成、やまなし観光推進機構等と連携したキャンペーン、雑誌や新聞等メディアの活用等、様々なPR活動を積極的に行い、本市の観光情報を広く県内外へ発信することにより、誘客の促進を図る。
- 湯村温泉郷の魅力向上と地域の活性化を図る。
- 甲府駅北口クリスタルアース内に宝飾と葡萄を題材としたモニュメント及び宝石ディスプレイを展示し、来訪者に地場産業の歴史や魅力を紹介する。
- 市内の小中学校に通う児童・生徒を対象とした、観光絵画デザインコンクールにおいて、最優秀賞に選ばれた作品の原画を基に高速バスの後部にラッピングし、本市の観光資源を県内外に広くPRする。
- 本市の奥深い歴史を体感してもらうため、さまざまな歴史的な背景を切り口に魅力あるモデルコースを企画し、こだわりのあるオプションツアーを実施する。

現況と課題

- 本市特有の歴史や地域資源を活用した着地型観光の提案など、本市を訪れた観光客にリピーターとなってもらえるよう、広域連携による広報活動を積極的に行うとともに、観光関係団体等と連携した事業を展開することにより、滞在型観光客の増加を図ることが必要である。

今後の事業展開

- 近年、社会情勢の変化や価値観の多様化により、旅行形態も見る観光から芸術や文化を楽しむ、街並みや文化遺産、地場産業に触れる、あるいは地元の人と交流するなど、多種多様となっている。そこで、甲府市観光振興基本計画に基づく「観光振興計画推進会議」により、当該計画の進行管理を行うとともに、各種関係団体等と連携しながら活力と魅力ある滞在型の観光地づくりと、新たな観光政策の構築に努める。
- 昇仙峡や盆地の夜景など本市の豊かな自然や景観、武田信玄に代表される歴史を最大限に活用し、観光客が感動できる観光地づくりを行う。
- 「関東B-1グランプリ」開催を契機と捉え、メディアの活用や観光キャンペーン等を積極的に実施することにより、本市への誘客促進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24~26)
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
年間延べ宿泊者数 (千人)	620	598	620	623	626	1,869
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	14,409		15,565	14,674	13,765	

02 資源を活かした観光まちづくり

■まつり推進事業 【事業No.04050201】	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

事業概要

- 「信玄公祭り」や「甲府大好きまつり」を通じ市民のふるさと意識を醸成し、参加者の自発的意識のもと、市民連帯感の高揚を図る。さらに、「信玄公祭り」においては、県内外の観光客に親しまれる祭りとして実施し、交流人口の増加を目指していく。

現況と課題

- 本年度に開催予定であった信玄公祭りについては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響を踏まえ、信玄公祭り及びその関連イベントの全てを中止とした。
- 甲府大好きまつりにおいては、運営予算、参加団体の減少など多くの課題があり、平成20年度より協賛金を募集し、また各分野の専門家による検討委員会を定期的に開催するなど、課題の改善に向け現在継続的に取り組んでいる。

今後の事業展開

- 第41回（平成24年度）信玄公祭りは、大成功に終わった第40回の基本形を継承しつつ、震災後初の開催となることから、被災地支援をテーマとした企画を取り入れるなど、さらなる創意工夫を凝らした魅力的な祭りとしていく。また、民間の活力を活用しながら、観光客の滞在時間延長や消費額の向上、さらには新しいマーケット（ターゲット）の開発に努めていく。
- 「甲府大好きまつり」については、参加者、出展者に加え、観客を対象にしたアンケートも実施し、より正確なニーズを把握することにより、祭り本来の盛り上げりを復活させ、子供からお年寄りまで誰もが参加して楽しめる「市民祭り」を目指し検討していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24~26)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
信玄公祭りの人出 (人)	平成22年度 128,580	平成23年度 0	平成24年度 132,000	平成25年度 133,000	平成26年度 134,000	399,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	19,500		19,500	19,500	19,500	

■地域資源活用推進事業 【事業No.04050202】	担当部課係名	産業部	産業プロジェクト推進課	ダイヤル	237-5121
			産業政策係		

事業概要

- 地域資源である「甲府鳥もつ煮」を活用した食のイベントを開催し、全国へ向けて本市の魅力を発信することで、多くの来街者を迎え入れ、産業の振興や地域活性化の促進を図る。

現況と課題

- ご当地グルメを活用した食のイベントは、まちおこしの新たな手法として注目されている。B-1グランプリにおいてゴールドグランプリ受賞後は本市にも多くの観光客が「甲府鳥もつ煮」を求め訪れている。このブームを一過性のものとして終わらせることなく、観光資源としての活用策や、地域振興につなげていくことが求められている。

今後の事業展開

- 市民・県民が郷土の豊かな食文化を実感し、郷土への愛着や誇りを持つことができる機会となるよう「2012 関東B-1グランプリ in 甲府」を開催することにより、新たな地域づくりの芽を生み出すことを促進し、産業の振興や地域活性化につながるよう努めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
「食のイベント」の来場者数 (人)	平成22年度 —	平成23年度 100,000	平成24年度 110,000	平成25年度 —	平成26年度 —	110,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	8,919		19,730	20,000	—	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 受入体制の整備

■観光開発事業 【事業No.04050301←No.04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237- 5702
			観光係		

04 情報発信の強化

■観光開発事業 【事業No.04050401←No.04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237- 5702
			観光係		

6 生鮮食料品流通機構

施策の基本的考え方

- 市場を取り巻く様々な環境の変化に対応するため機能強化に努めるとともに、市場運営に関しては、民間活力の導入を視野に入れ、生産・消費者両サイドの期待に応えられる安全・安心な流通システムへの転換が図れるよう、効率的で経済的な運営方法の構築を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
生鮮食料品流通機構 06	01 市場運営の健全化	

7 山間地域

施策の基本的考え方

- 環境保全と開発の調和を基本とした森林の利活用を行いながら、農林業と観光産業の共存できる地域づくりに努めます。
- 山間地域の活用を図りながら、山村の振興に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
山間地域 07	01 自然環境の保全・活用	
	02 山間地域の活用	

8 勤労者

施策の基本的考え方

- 「労働問題懇話会」の提言等を参考として勤労者福祉の向上に努めるとともに、中小企業の福利厚生事業を実施する財団法人甲府市勤労者福祉サービスセンターの支援を行います。
- 勤労者の生活の安定及び住環境の整備を図るため、生活資金や住宅資金の融資事業を推進します。
- 山梨労働局、ハローワーク甲府、甲府商工会議所などの関係機関との連携を図りながら、若年層を対象とする就業支援を行います。また、退職後の高齢者の社会的活用と生きがい対策として、公益社団法人甲府市シルバー人材センターの支援を行います。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
勤 労 者 08	01 勤労者福祉	01 勤労者福祉サービスセンター推進事業
	02 勤労者の生活支援	01 勤労者融資対策事業
	03 雇用対策の推進	01 雇用促進対策事業

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 勤労者福祉

■勤労者福祉サービスセンター推進事業 【事業No.04080101】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

- 中小企業勤労者の総合的な福利厚生事業を行っている財団法人甲府市勤労者福祉サービスセンターの活動を支援することにより、中小企業に勤務する勤労者の福祉の増進を図る。

現況と課題

- 平成22年度に策定した、「経営改善計画」による将来を見据えた自主・自立による健全運営を目指している。また、公益法人改革による公益財団法人への移行を目指す。このため、収益の確保による経営の安定、事業の見直し、会員の増強など組織の拡大強化に取り組んでいる。

今後の事業展開

- 財団法人甲府市勤労者福祉サービスセンターにおいて、①会費の値上げ、会員の拡大等による収入の確保、② 共済給付金の見直しや、事業の見直し、職員体制の見直し等による経費の削減などに取組み経営基盤強化に努める。労政課では、これらセンターの取り組み状況を見極める中で、職員の併任など、必要な支援策を講じていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
会員数の推移 (人)	3,450	3,770	3,895	3,950	4,020	4,020
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	6,747		6,827	6,827	6,827	

02 勤労者の生活支援

■勤労者融資対策事業 【事業No.04080201】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

- 勤労者に住宅の新築、増改築及び購入に必要な資金や、医療、教育、その他資金の融資を行うことにより、勤労者の福祉の向上と生活の安定並びに、住環境の整備と定着人口の確保を図る。平成22年度から、勤労者住宅資金融資事業の対象者を中小企業勤労者とした。

現況と課題

- 低利な融資利率と利用件数の向上。

今後の事業展開

- 融資事業の継続推進を図る中で、より利用しやすい制度となるよう、貸付利率や貸付限度額等の内容を適宜見直していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
融資枠(予算)に対する 融資実行率(%)	14	20	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	825,438		724,446	749,741	748,741	

03 雇用対策の推進

■雇用促進対策事業 【事業No.04080301】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

- 勤労者の労働問題等に対する支援。
- 高齢者の生きがいや社会への積極的参加を推進していくため、公益社団法人甲府市シルバー人材センターの運営管理を支援。
- 若年者の職業感の醸成。
- 求職者に対する就労支援。

現況と課題

- 東日本大震災後の景気の悪化やデフレを背景に、求人倍率の低迷や非正規雇用労働者の増加、労働条件の悪化、高校・大学新卒者の就職率の悪化等、厳しい雇用情勢。

今後の事業展開

- 甲府商店街連盟、甲府商科専門学校と連携した甲府市インターンシップ*制度の継続実施。
- 山梨労働局、甲府公共職業安定所、甲府商工会議所と連携した雇用求人情報の提供、就職情報の提供。
- 中学校の生徒を対象とした若年者就業支援事業（キャリア教育講演会）の継続実施。
- 公益社団法人甲府市シルバー人材センターについては、緊急雇用創出基金事業を活用した福祉・家事援助サービス事業の展開及び火災警報器の設置、販売などセンターの自立に向けた経営の安定を支援していく。
また、企画提案型の事業を教育、子育て、環境などの分野において検討する中でニーズに対応する事業の支援を行っていく。
- インターネット・携帯電話を活用した雇用・就労支援システム「ジョブサポートこうふ」の一層の周知・徹底に努め、システムの改善や向上を目指す中で、求職・求人の雇用支援を行っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24～26)
			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
インターンシップ参加学生数 (人)	平成 22 年度 74	平成 23 年度 54	50	50	50	50
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24～26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	17,395		15,756	15,862	15,862	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。